

弥富市立桜小学校へご入学の皆様へ

I 準備物について

ご家庭で準備していただくもの（入学後に必要となるもの）

I かばん・袋類

・通学用かばん	色指定はありません。A4（21×30cm）が入るもの。
・うわばき入れ ・体育館シューズ入れ	うわばき・体育館シューズが入る大きさの袋。 手作り、市販は問いません。
・体操服入れ	体育の用意（体操服上下、赤白帽子）が入られる、口が閉まる巾着袋。 学校では、ロッカーに保管します。
・給食セット入れ	給食時の歯磨き指導等に使用する、歯ブラシ・コップの保管に使用します。また、給食準備中に使用するマスクも入れます。15cm 程度の巾着袋が一般的です。歯磨き粉は使用しません。
・月曜セット用の手さげ袋	月曜日に学校へ持ってくるので、うわばき、体育服、給食セットを「月曜セット」と呼びます。これらをまとめて入れられる手さげ袋を準備してください。毎週末、洗うために持ち帰ります。
・マイバッグ	給食セット、読書も本などを入れ、常時、机の横にかけておくための袋。持ち手は短めが望ましい。

2 学習に必要なもの

・鉛筆入れ （ふでばこ）	学習準備の習慣をつけるためにも、鉛筆の本数等の確認がしやすいものにしてください。鉛筆削りがついていないものか、取り外しができるものでお願いします。
・鉛筆 ・消しゴム ・下敷き ・色鉛筆（クーピー） ・クレパス	→ Bまたは2B。赤（朱）鉛筆も必要です。 → 消しやすい形状、大きさのものを選んでください。 → キャラクター類は避けてください。 → 12色程度（多色のものは道具箱に入りません） → 12色程度
・算数セット	入学式の日業者にによる販売を行います。 （入学時に3年生以上の兄弟姉妹がいる場合は、再利用も可。共用も可）
・粘土板、粘土べら	保育所、幼稚園で使っていたものでも構いません。
・鍵盤ハーモニカ ・カスタネット ・絵の具	保育所、幼稚園で使っていたものでも構いません。 （鍵盤ハーモニカと絵の具は、入学後に購入することができます。また、兄弟姉妹との共用も可）

3 服装等

ア 通学時の服装

特に学校が指定する服装はありませんが、動きやすく、季節感のある小学生らしい服装をさせてください。

イ 体育時の服装

体育	上 → 白の体操服（袖の長さ、襟の形状は自由） 胸の中央にゼッケンをつけ、記名する。 下 → ハーフパンツ（黒または紺色。サイドのラインは自由） 帽子 → 赤白帽子（ひさし・ゴム紐つき） * フラップ付きの赤白帽子も可。 * 冬季は、体育用の長ズボン長袖、（ジャージ）でもよいが、色はハーフパンツに準ずる。
水泳	水着 スクール水着（黒または紺）に記名した白い布を付ける。 * ラッシュガード等、対応が必要な場合は、ご相談ください。 水泳帽子 白色ナイロン製ネットのもの バスタオル ビーチサンダル・サンダル入れ（ビニール袋） 水泳用かばん

ウ 靴

通学時	運動靴（外遊び、体育の授業に対応できるもの）
校内	白のバレエシューズ（上履き）
体育館	白のバレエシューズで周囲のゴムが赤色のもの（体育館シューズ）

エ 雨具

傘	2本準備してください。（1本は、置き傘として学校に置きます）
雨かっぱ	傘より両手が自由になる雨かっぱがお勧めです。

入学後に学校からお渡しするもの（準備の必要のないもの）

学習に必要なものは、入学式または、学校が始まってからお渡しします。

教科書	国語・書写・算数・生活・音楽・図画工作・道徳
副読本	ことばのひろば
健康手帳	児童の健康状態等を記録するノートです。
ノート	国語・算数・自由帳・連絡帳
ドリル類	ひらがな、カタカナ、計算等
お道具箱	教室で学習用具を入れるための箱
学用品	はさみ、のり、名前ペン、連絡袋、 セロテープ、色紙、粘土、粘土ケース、粘土ヘラ
名札	名札（はじめは、ひらがな表記の名札を使用します）
交通安全ワッペン	ランドセルにつけます。（傷害保険付き）
ヘルメット	弥富市から支給されます。
防犯ブザー	弥富市から支給されます。
安全パトロール腕章	桜小学校PTAから支給されます。

* お子様のすべての持ち物に、組・名前をひらがなで記入し、持たせるようにしてください。

Ⅱ 桜小学校の 1 日について

月・火・木・金（水曜日を除く）

～ 8:10	登校 ①
8:25 ～ 8:30	なかよしタイム② 【朝の読書】
8:30 ～ 8:40	朝の会 ③
8:40 ～ 8:55	さくらタイム④ 【朝の学習】
8:55 ～ 9:40	1 時限 ⑤
9:50 ～ 10:35	2 時限
10:35 ～ 10:50	業間 ⑥
10:55 ～ 11:40	3 時限
11:50 ～ 12:35	4 時限
12:35 ～ 13:25	給食 ⑦
13:25 ～ 13:40	清掃 ⑧
13:40 ～ 13:55	昼休み
14:00 ～ 14:45	5 時限
14:45 ～ 14:55	帰りの会 ⑨
下校時刻 ⑩	
月曜日 ～ 金曜日	15:05
14:55～15:40	6 時限 ※
15:40～15:50	帰りの会 ※
16:00	6 時限下校 ※

～ 1 年生の場合～

- ① 通学団単位で登校します。
- ② 朝の読書の時間です。1 年生のはじめは、学級指導になることもあります。
- ③ 担任が健康状態をチェックし、1 日の生活についてお話しします。
- ④ 朝の学習の時間です。授業時間の一部として、学習を行います。
- ⑤ 小学校の授業は、1 単位時間 4 5 分です。
- ⑥ 15 分間の業間は、外で元気よく遊ぶ時間です。
- ⑦ 準備から片付けまで、自分たちで行います。会食の時間は、30 分程度です。給食後には歯磨きもします。
- ⑧ 1 年生は教室を中心に清掃をします。
- ⑨ 1 日の反省と次の日の学習について確認します。
- ⑩ 月曜日は、全校が 5 時間授業なので一緒に通学団で帰ります。（一斉下校）
火曜日は 1 ～ 3 年生、金曜日は 1 ・ 2 年生で下校します。
木曜日はクラブや委員会がなければ一斉下校です。

※ 3 年生以上の 6 時限授業時は、左記のようになります。

桜小学校の 1 日（水曜日）

桜小学校では、授業時間の確保と授業後の時間にゆとりをもたせるために、毎週水曜日を特別日課（スーパー・ウエンスデー）で生活しています。

～ 8:10	登校
8:15 ～ 8:20	朝の会
8:20 ～ 9:05	1 時限（学活）
9:15 ～ 10:00	2 時限
10:10 ～ 10:55	3 時限
11:05 ～ 11:50	4 時限
12:00 ～ 12:45	5 時限
12:45 ～ 13:35	給食
13:35 ～ 13:40	清掃
13:40 ～ 13:55	昼休み
14:00 ～ 14:45	6 時限
14:45 ～ 14:55	帰りの会
15:05	一斉下校

○ なかよしタイム、さくらタイムをなくし、1 時限目の開始を早くしています。

○ 午前中に 5 時間の授業を行います。

○ 清掃の時間を短縮し、昼休み以降の時間を他の曜日と合わせています。

○ 6 時限目終了後、全校で一斉下校をします。下校時間は他の曜日の 5 時間授業のときと同じになります。

* 行事などがある場合、下校時刻を変更することがあります。

変更する場合は、事前に「学年だより」などで連絡します。

Ⅲ 登下校・欠席等について

Ⅰ 通学団とは

集団での登下校のための組織を通学団といいます。通学団は、地区単位で組織します。通学団は、実際に登下校する集団ごとに通学班を編制します。通学班の編制は、原則として、児童の自宅位置等をもとに行います。それぞれの通学班単位で集合場所・集合時刻が決められます。

(例)

通学団 前ヶ須西	➡	通学班（実際の通学のまとり） 前ヶ須西 1班～4班
-------------	---	------------------------------

- * 通学団には、担当の教職員が1名以上つき、指導にあたります。
- * 通学団・通学班は、学校とPTA地区委員が協議して決定します。

2 登 校

通学団の班ごとに、決められた時刻に、決められた場所へ集合します。出発時刻になったら、通学班は集合場所から出発します。集合時刻に間に合わなかったときには、保護者の方と一緒に登校してください。

- * 欠席の場合は、通学班に欠席することを連絡してください。

3 下 校

- 月曜日と水曜日は、登校時の通学班で集団下校します。（一斉下校）
- 火曜日は1～3年生で、金曜日は1・2年生で下校します。木曜日はクラブや委員会がなければ一斉下校です。（安全面の観点から下校途中でのお迎えは控えてください。）

4 欠席・遅刻・早退

欠席、遅刻、早退の連絡は連絡アプリで行います。

急を要する場合や、プライバシーの関係で連絡アプリや連絡帳を使用できない内容の場合は電話による連絡でも構いませんが、必ず学校および通学班の班長に、欠席・遅刻等をすることを連絡してください。

ア 欠 席

8時15分までに、連絡アプリで連絡してください。

欠席する理由は、児童の欠席の状態を正確に把握することが目的です。また、理由により、学校の記録上の扱いも異なりますので、必ずお知らせください。

- ・ 病気やけがによる療養、通院、検査等の場合 → 病欠（欠席扱い）
- ・ 病気やけが以外の子の都合による場合 → 事故欠（欠席扱い）
- ・ 親類等の葬儀の場合 → 忌引
- ・ 出席停止の疾病の場合 → 出席停止

イ 遅刻・早退

8時15分までに、連絡アプリで連絡してください。

遅刻、早退の場合は、児童の登下校の安全上、必ず保護者による送迎をお願いします。

- * 児童の登校から下校までの間は、門扉は閉まっています。
西門に設置してあるインターホンで職員室に声をかけてから校内にお入りください。

☆ 忘れ物をした場合も戻れません。

通学班の集合場所を出発した後は、忘れ物を家に取りに帰ることを禁止しています。（他の児童が待つことになったり、取りに戻る際の危険があったりするため）

忘れ物がないように、時間割や連絡帳などを見て準備ができることが大切です。

1年生のうちは、自分だけで準備をすることは難しいかもしれません。まずは、一緒に、慣れてきたら時間割後のチェックと、少しずつお子さんから離れていく形で、自分でできるような習慣化を図ってください。

IV 入学までにしておきたいこと

小学校に入学すると、お子さんの生活は大きく変化します。自分の足で登下校したり、チャイムに合わせて行動したりするなど、自分で考えて行動する力が必要になってきます。また、新しい仲間や先生、多くの上級生などと、自分で会話したり、交流したりする力も必要になります。以下の点につきまして、新たな生活に向けて、ご家庭で準備していただきますよう、ご協力をお願いします。

早寝早起きの生活リズムを

お子さんの学校生活は、起床から始まります。朝寝坊をすると、『朝食を食べられない』『排泄ができない』などということが起きてしまいます。これは、その後の1日の生活に大きな影響を与えます。また、気持ちにも余裕がなくなり、交通事故や忘れ物の原因にもなります。小さなお子さんの成長のためには、たっぷりの睡眠が必要です。早寝早起きの生活のリズムをきちんと作り、目覚めのよい朝を迎えられるようにしてください。

自分のことは自分でする習慣を

衣服の着脱、食事、身のまわりの整頓など、自分のことが自分でできるようにさせてください。学校での生活は、決められた時間の中で、自分に与えられたことをしていかなければなりません。学校としても、余裕をもって計画を立てていますが、やはり、基本的な準備や片づけは自分でできることを前提としています。

- ・ 自分で服の着替えができますか。
 - ・ 脱いだ服をたたむことができますか。
 - ・ ひもが結べますか。
 - ・ はしやスプーンを使って、食事ができますか。
 - ・ 自分が使うものは、自分で準備していますか。
 - ・ 自分が使ったものは、自分で片づけていますか。
 - ・ トイレに自分でいけますか。（がまんできなくなるまでがまんしていませんか。）
- ※ 学校内には、一部和式トイレがあります。

あいさつや返事ができる子に

朝起きたときの「おはよう」、出かけるときの「いってきます」、帰宅したときの「ただいま」、名前を呼ばれたときの「はい」、何かをしてもらったときの「ありがとう」をしっかりと言えますか。集団の中では、返事やあいさつはコミュニケーションの基本です。

身近な大人が手本を示すことが大切です。返事やあいさつをしなさいと言う前に、まずは、お子さんに手本を見せてください。

通学路を歩いてみる

3月、暖かくなってきたら、お子さんと一緒に通学路を歩いてみてください。ほとんどの子にとって、初めての徒歩通学となります。いきなり通学団で登校するより、おうちの人と何度か歩いてから登校した方が、お子さんも安心できます。また、おうちの方にとっても、どんな通学路を通して学校に行っているのかを知っておいていただくことは、とても意味のあることです。歩いてみて初めて気がつく危険な場所、注意が必要な場所もあります。そういうところで立ち止まり、子どもと安全について考える、子どもに教えることもしておいていただけたらと思います。

小学校への期待がふくらむ言葉がけを

お子さんにとって小学校は未知の世界です。期待もありますが、不安もいっぱいです。したがって、入学を控えた頃のおうちの方の声かけは、とても大切になります。

「そんなことをしていたら、小学校へいけないよ」「そんなことしていたら、先生にしかられるよ」などという言葉は、禁物です。おうちの方にとっては、お子さんにやる気をもたせよう、がんばらせようという気持ちから出る言葉かもしれませんが、小さな子にとっては、「学校は、ちゃんとしないと怒られるところ」「先生は怖い人」という学校や教師に対する不安や精神的な圧迫感を与えてしまうことにもなりかねません。「よくここまでできたね。これなら大丈夫だよ。こんどは、〇〇もやってみようか」「すごいね。もう1年生みたいだね」など、プラスの面を評価しながら、できないことにも挑戦させるようにしたいものです。

小学校でもがんばれそうだ。小学校へ行ってみたいな。という気持ちがふくらむような言葉がけをよろしくお願いします。